

授業科目 公衆衛生看護活動演習Ⅰ

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	看護
宇田 優子 他		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	○	◎	
【概要】					
公衆衛生看護活動の固有の技法である地域アセスメントの過程を学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域特性を把握し、健康課題を抽出することの意義を説明できる 2. 地域特性や健康課題を把握するための指標を説明できる 3. 既存資料を基に、演習した地域の特性について述べるができる 4. 既存資料を基に、演習した地域の健康指標を抽出できる 5. 健康課題を分析し、優先順位を考えることができる 6. 地域保健活動計画を立案できる 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1、2	公衆衛生看護活動における地域アセスメントの意義、地域の健康課題を把握するための指標			1、2	講義
3、4	地域特性を把握するための情報			1、2	講義・演習
5、6	地域の健康課題を把握・分析する（1） 母子保健			1～4	講義・演習
7、8	地域の健康課題を把握・分析する（2） 成人保健			1～4	講義・演習
9、10	地域の健康課題を把握・分析する（3） 高齢者保健			1～4	講義・演習
11、12	健康課題と地域保健活動計画の立案、評価（1）			5、6	講義・演習
13	健康課題と地域保健活動計画の立案、評価（2）			5、6	講義・演習
14、15	健康課題と地域保健活動計画の立案、評価（3）			1～6	発表・全体討議 北区保健師・住民からの助言 * 内容は変更する場合がある
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)	公衆衛生看護学	津村智恵子、上野昌江	中央法規	2012・3,600円＋税	
	公衆衛生看護学 jp	荒賀直子、後閑容子	インターメディカル	2012・4,400円＋税・1年次に購入したものを使用する	
参考書					
その他の資料					
【評価方法】			【履修上の留意点】		
出欠、演習への貢献度（提出物含む）50% テスト 50%			パソコンを使用して、情報収集と表作成を行うので、パソコン・LAN ケーブルを持参すること		